

新撰菟玖波集 写本 列帖装三帖 911. 2/S 鶴見大学図書館蔵

大きさ	縦16・7cm、横17・5cm
表紙	緑色地金色糸瓢箪唐草模様織出緞子表紙 題簽跡なく、後補改装。
見返し	金布目紙に銀泥で梅花文をあしらった装飾料紙。
本文料紙	斐楮交漉紙
本文書写	仮名序 一面十行 一行 一四字～一六字 本文一面一二行
丁数	上：五括り、九八丁 *九八丁ウに、「墨付紙数八十五枚／礼紙五枚」の小紙片(8.6×2.5) 中：四括り、八〇丁 *七八丁ウに「墨付紙数六十四枚／礼紙四枚」の小紙片(8.7×2.6) 下：六括り、一〇八丁
極札	包紙「小札」と表書 「 二楽軒飛鳥井雅康卿 初巻 冊(印) 大内多々良政弘 外二巻 冊 」(表) *一五・二cm×二・一cm、裏書きなし

奥書・識語 奥書は一見するとその存在を認められないが、凝視すると全ての帖の最後に、擦り消しの跡が見られ、筆者または旧蔵者の名前と花押を擦り消し抹消したものと認められる。古筆鑑定家の所業とも思われず、それがなされた時期は不明だが、今後の調査次第では書写年代など、より明らかになる可能性もある。さまざまな方法によるアプローチが期待される。